



身の回りで使われる素材の製造。
化学でやさしい未来づくりをしています。

もっと、くわしく
見てみよう！



堺化学工業株式会社

本社 / 堺市堺区戎島町5-2 TEL.072-223-4111 <https://www.sakai-chem.co.jp>
創業 / 1918年(大正7年) 従業員数 / 753名(2024年3月末現在)

私たちの仕事

堺化学では、たくさんの原料を混ぜ合わせて化学反応させた素材を作っています。私たちがふだん生活で使っている身の回りのものにもいろいろな形で含まれていて、みんなの生活に役立っています。その1つが化粧品材料です。



化粧品材料を作るにはどんなお仕事があるの？

化粧品は商品のはやりが2~3年ととても早く、スピード感が求められます。化粧品原料のきまりや業界のトレンドに敏感であることが大切です。



開発



化粧品の細かい粉をより使いやすく、より高機能にするために毎日化学反応の実験をしています。

製造



決められた原料を使い生産条件が合っているか、検査をクリアしたものだけ販売できます。

販売



技術的な専門知識と営業スキルを持った「技術営業」が化粧品メーカーへ行きます。

こんな商品に
使われているよ！

『ナノマテリアル』という小さなつぶを開発しています。このつぶがなめらかな肌触りにし、肌を紫外線から守るために重要な役割を果たしています。長年の知識とさまざまな技術が使用されています。



日焼け止め

ファンデーション



新たな素材が開発されるまでを見てみよう！

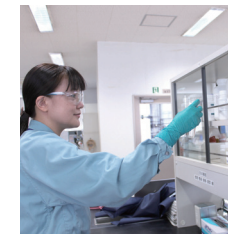
はやりをいち早く取り入れるために、調査、実験、製造などを急いで行っています。

1 市場調査、目標設定



世界中の化粧品業界の動きを調べ、どの部分に人気が出るか調査します。

2 実験・試作



異常が出るかどうかを見て条件の幅を決めるので、わざと失敗する実験もあります。

3 打ち合わせ



テーマや実験データなどをまとめ、化粧品メーカーのお客さまと確認、打ち合わせをします。

4 製造(工場量産)



微調整などができればよい製造です。工場では1回あたり500kgくらいの素材を作ります。

環境にやさしい素材に変えて地球を守りみなさんに伝えたいと考えています。



【地域とのかかわり】みなさんに化学に興味をもってもらいたいので、堺科学教育フェスタに参加しています。今年も日焼け止めの手作り体験で出展しました。



マスコットキャラクター：チータン



働く人の声



コスメティックイノベーション部
堺グループ グループマネージャー
芦田 拓郎 さん

研究内容などの指示やアドバイスをします。製品を紹介するために海外に行くので、英語やコミュニケーションが大事だと考えています。



コスメティックイノベーション部
堺グループ
城戸 綾香 さん

個人ごとにテーマがあり研究をし、新しい製品を作っています。自分がかかわったものが採用され、その化粧品がお店に並んでいるととてもうれしいです。